にも包括　ワークシート

構成要素	医療と福祉の連携

構成要素に関する地域ビジョン（地域のあるべき姿）

地域において精神障がいのある方等が、身近なところでの相談、必要なサービスや医療を受け、入院中から退院後の生活をイメージして自身の希望する場へ帰ることができる支援体制が整備された地域において、安心して生活することができる。
・症状が悪化する前や困りごとがある際に、身近なところで必要なときに適切な支援が提供されるよう、医療・保健・福祉の関係機関による支援体制が整備され、精神障がいを有する方等の地域生活を支える。
・退院後の生活イメージの共有、ステップアップする支援を行う（本人・家族のアセスメント、アウトリーチ支援、障がいと介護の支援等）

達成するための項目

A　本人のセルフケア能力の向上（自身のメンタルヘルス・障がい理解の促進、セルフチェック、適切な援助希求、自助グループへの参加等）

B　伴走型の支援

C　関係機関のコーディネート

長期目標（3年後の目標）

達成するための項目ごとの現状と課題

A　本人のセルフケア能力の向上（自身のメンタルヘルス・障がい理解の促進、セルフチェック、適切な援助希求、自助グループへの参加等）

B　伴走型の支援

C　関係機関のコーディネート

できている

できていない（できるとよいこと）

対応策

分類	A　本人のセルフケア能力の向上（自身のメンタルヘルス・障がい理解の促進、セルフチェック、適切な援助希求、自助グループへの参加等）	B　伴走型の支援	C　関係機関のコーディネート
取組むこと			
実施上の課題			
協議の場（参加者）			
役割分担			

ロードマップ（3年度分）

短期目標（各年度の目標）

令和6年度　／　令和7年度　／　令和8年度

	実施事項	月 4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
A	1												
	2												
	3												
B	1												
	2												
	3												
C	1												
	2												
	3												